

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

建設部都市計画課

建設部長 大山 仁志

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
24-003	都市計画マスタープラン改定事業	あり	B	市民アンケートや策定委員会を通じて市民の声を聴取し、都市計画マスタープランについては土地利用や都市交通など都市施設整備の方向性を全体構想の素案としてまとめ、立地適正化計画については、都市機能誘導区域の設定の方向性を素案としてまとめた。	現状維持	各中学校区ごとで開催するワークショップや策定委員会、パブリックコメントを通じて、市民の意見を聴取し、令和2年度中に都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定する。
24-005	ふるさと景観づくり推進事業	なし	C	景観条例に基づく対象行為に対しアドバイスを行い、良好な景観形成に努めたが、改善率が目標を達成できなかった。 ふるさととの景観への関心を深め、愛着を育むため実施している風景絵画＆フォトコンテストの作品展示をCLACITY及びMIM(MIMホール内)の他、チャンネルナイト開催時に源兵衛橋の下の遊歩道で「橋の下絵画展」として行い、作品に触れる機会の拡大に努めるとともに、小中学校等への個別PRにより応募者数の増加を図った。また、作品を活用し優れた風景を紹介した半田市PR冊子「はんだマニア」の作成、配布により市民の景観に対する意識を深めた。さらに、出前講座を亀崎小学校と岩滑小学校の2校(5クラス)で開催し、児童の景観に対する意識向上を図った。	現状維持	景観アドバイザーによる助言指導が、良好な景観形成に反映されるよう、引き続き届出者に対し改善を求めている。 また、風景絵画＆フォトコンテストの応募者を増やすためのPRを継続するとともに、景観に対する意識を深め、景観づくりの大切さを学んでもらうため、小学生を対象とした出前講座を継続して開催する。講座の内容は小学校の意見を取り入れ児童の理解度が深まるよう努める。
24-006	半田運河周辺整備事業	あり	B	半田運河周辺を市民の憩いの場及びおもてなしの場とするため、周辺の景観に配慮した街路灯を整備し、夜間の視認性の向上を図ることができた。	改善推進	更なる賑わいの創出のため、景観に配慮した人道橋を設置し、回遊性向上を図る。
24-007	景観形成推進事業	あり	C	景観づくり推進事業補助金の活用を促進するため、亀崎地区や岩滑地区において戸別訪問によるPR活動を行ったが、最終的に施主の都合やコロナウイルスの感染拡大に伴い施工業者の確保ができなかったことが要因で申請には至らなかった。 亀崎地区においては、地域の若者を中心に検討を重ね、地区の中心である仲町通りのまちづくり方針を策定した。	改善推進	良好な景観形成により、愛着と誇りを持って住み続けられるまちづくりを進めるため、今後も景観づくり推進事業の補助制度について、戸別訪問によるPR活動などにより周知を図る。また、今後の景観形成について地域の意向を伺い、協議会や活動組織と連携して進める。
24-008	児童遊園、ちびっ子広場管理運営事業	なし	A	遊具改修について、遊具の選定に際し、アンケート調査を行い利用者である地域の子供たちの意見を反映することができた。	拡充推進	今後はトイレやフェンス等の施設改修を計画的に実施していく。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
24-009	公園管理事業	なし	B	遊具については、専門業者による点検結果等を踏まえ計画的に改修したことにより、事故なく、利用者の安全を確保することができた。また、職員がパトロールを行うことにより、遊具の危険箇所及び樹木の繁茂を早期に発見することができ、迅速に修繕等の対応をすることができた。	現状維持	今後も公園利用者が安全かつ快適に使用できるよう、職員や樹木管理委託業者による定期パトロールを実施し、適切な公園の管理に努めていく。
24-011	公園整備・改修事業	あり	B	任坊山公園については、老朽化した東屋とちやぶちやぶ池の改修を実施した。ちやぶちやぶ池の改修では、池底をゴムチップ舗装とし子供たちが安全に利用できるように配慮した。 また、遊具改修については、遊具の選定の際、アンケート調査を行い利用者である地域の子供たちの意見を反映することができた。	拡充推進	遊具について、引き続き点検結果に基づく計画的な改修を進め、利用者の安全確保に努める。また、利用者が快適に利用できるように、トイレ等の公園施設の改修を進めていく。
24-012	任坊山公園整備事業	あり	B	ジョギングやウォーキングなどが楽しめるよう散策路を整備し、また水辺に親しんでもらえるよう親水デッキの整備を行った。平成30年度に整備開始し、計画どおり完了することができた。	終了	当事業は令和元年度で完了。
24-013	(仮称)大高公園整備事業	あり	B	地元の要望を反映し計画どおりの公園整備ができた。	終了	当事業は令和元年度で完了。
24-014	緑化維持管理事業	なし	B	街路樹の管理については、樹木管理委託業者による維持管理のほか、職員のパトロールにより事故なく適切な管理に努めることができた。また、緑化イベントを市民が集まる場所で開催することで、緑化の推進に努めた。	現状維持	歩行者や通行車両の安全確保のため、引き続き職員による定期的なパトロールを実施し、適切な樹木管理に努める。また、市民が集まる場所でのイベント開催に努め、緑化への関心をより高めていく。
24-015	あいち森と緑づくり事業	なし	B	「あいち森と緑づくり事業」を活用して、旧ちびっ子広場である住吉東公園や白山公園に芝生などの植栽による緑化を図ることができた。芝張りに地域の方が参加いただくことで公園に対する愛着を深めることができた。また、民有地緑化への補助については、申請件数が1件であり目標に達することができなかった。	改善推進	公園の緑化については地域からの要望も踏まえて進めていく。また、民有地緑化については、「あいち森と緑づくり事業」の要件が緩和され活用しやすくなったことを利用促進につなげるためPRに努める。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価(令和元年度の総括評価)					
	都市計画マスタープラン改定事業においては市民アンケートや策定委員会を通じて市民の声を聴取し、都市計画マスタープランについては土地利用や都市交通など都市施設整備の方向性を全体構想の素案としてまとめ、立地適正化計画については、都市機能誘導区域の設定の方向性を案としてまとめた。 ふるさと景観づくり推進事業は、わたしのはんだ発見！風景絵画＆フォトコンテストを実施し、半田市の景観のPRを行うとともに、景観条例に基づく対象行為に対し景観アドバイスをを行い良好な景観形成に努めた。また、校区内に景観形成重点地区を有する2校の半田市の次代を担う小学生を対象とした出前講座により、景観に対する意識向上を図った。 半田運河周辺整備事業では市民の憩いの場及びおもてなしの場とするため、周辺の景観に配慮した街路灯を整備し、優れた景観形成を図ることができた。					
B	景観形成推進事業は、良好な景観形成により、愛着と誇りを持って住み続けられるまちづくりを進めるため、景観づくり推進事業の補助制度について、戸別訪問によるPR活動などにより周知を図ったが、最終的に施主の都合やコロナウイルスの感染拡大に伴い施工業者の確保ができなかったことが要因で申請には至らなかった。 児童遊園、ちびっ子広場、街路、公園等の管理については、遊具保守点検に基づく計画的な改修・修繕等を実施するとともに、職員による月1回のパトロールにより、危険箇所や剪定の必要な樹木を早期発見し対応することで、利用者や歩行者などの安全を確保した。なお、遊具の改修について、地元の子どもたちへのアンケート結果を基に選定し、公園に愛着を持って利用してもらえるように努めた。 任坊山公園整備事業の施行中は工事内容が利用者の意向に沿っているかを確認するため、親子現場見学会を開催しながら進めた。 (仮称)大高公園整備事業は、樹種については地元の要望を取り入れ、また、公園名については地元小学生から募集し決定するなど、地域が愛着をもつことができる公園を整備することができた。 あいち森と緑づくり事業は、住吉東公園と白山公園を芝生化し、潤いある緑の公園へ整備を進めた。また、自治区と植樹会を行い、自ら植樹したことで愛着も湧き、区民に親しまれる公園とした。毎年数件利用される民有地緑化は、広報活動により利用拡大に努めたい。					
部等長	2次評価(令和元年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
	都市計画マスタープラン改定事業は、ワークショップや策定委員会、パブリックコメントを通じて、市民の意見を聴取し、令和2年度中に都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定すること。 ふるさと景観づくり事業は、良好な景観形成を図るため、条例に基づく景観アドバイスや小学生に景観形成の大切さを理解してもらうために行っている出前講座を継続して実施すること。 半田運河周辺整備事業においては、更なる賑わいの創出を図るため、運河周辺の回遊性向上を目的として、令和3年度中の完成を目指し、景観に配慮した人道橋の整備を進めること。 景観形推進成事業は、重点地区の景観形成を図るため、地元住民や関係団体と協働して景観に配慮したまちづくりを進めるとともに、補助金による助成を周知するための戸別訪問により補助の活用を促すこと。 児童遊園、ちびっ子広場、街路、公園等の管理については、遊具保守点検に基づく改修・修繕等を計画的に進め、瑕疵による事故のないよう、管理して努めるとともに、職員による月1回のパトロールを継続して実施し、危険箇所や樹木剪定の必要な樹木を早期発見し対応すること。また、点検・パトロールの結果に基づき、計画的に修繕・改修し、利用者の安全確保に努めること。 任坊山公園整備事業は、利用者の意向を確認するため、親子現場見学会を開催しながら進めた。結果として、既存の公園部を含め利用者が大幅に増えた。多くの利用者が訪れ、隣接する図書館・体育館等を含めたこの地区の顔であるため、公園のみならず、近隣の街路等も含めより一層適切に管理すること。 (仮称)大高公園整備事業は、地域の意向を踏まえた公園整備ができた。また、公園名を地元小学生からの募集により決定したこともあることから、今後も更に地域の公園として愛着を持ってもらえるよう働きかけること。 あいち森と緑づくり事業において整備した道池公園、成岩本町公園は、それぞれ、緑化が進むとともに区民に親しまれる公園となった。民有地緑化も含め、今後も、この事業を活用するため、積極的にPR活動に努めること。					
B						